

令和4年度 第3回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和4年11月25日(金) 13時30分から14時10分まで		
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室		
議 題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて		
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会長	沼口 諭
	副委員長	大垣歯科医師会会長	片野 雅文
	委員	大垣市医師会副会長	竹中 清之
	委員	大垣市医師会理事	森 俊治
	委員	大垣歯科医師会副会長	馬淵 直樹
	委員	大垣薬剤師会長	松本 正平
	委員	大垣市教育長	山本 譲
	委員	大垣市女性連合会長	竹中 昌子
	委員	西濃保健所長	河野 芳功
	委員	弁護士	鈴木 一郎
公開区分	公開		
傍 聴 人	なし		
概 要	1. 報告事項 (1)定例報告事項 1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績について報告した。 ①紹介率……4年4月～4年10月:60.5% 逆紹介率…4年4月～4年10月:132.3% ②地域連携予約診察件数…4年4月～4年10月計:6,777件 地域連携予約検査件数…4年4月～4年10月計:573件 ③開放型病床登録医数…4年10月末:160人(医科131人、歯科29人) 利用率…4年4月～4年10月:12.8% ④救急受診患者数…4年4月～4年10月計:26,236人(月平均3,942人) 救急車利用件数…4年4月～4年10月計:6,419件(月平均884件) 救急入院患者数…4年4月～4年10月計:1,948件(月平均216件) ⑤地域医療従事者に対する研修…4年4月～4年10月開催数:11回、院外受講者42人 * 病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会、診療報酬に関する委員会、西濃地域緩和ケア研修会、外来化学療法における薬薬連携研修会等 市民対象講演会等…4年4月～4年10月開催数:4回、院外受講者37人 * 市民公開講座、がんの市民公開講座等		

- ⑥地域連携クリニカルパス登録状況…4年4月～4年10月登録総数 502 件
4年10月末時点でのパス開始からの登録総数:11,710 件
- ⑦OMNet 利用状況…4年10月末時点の利用登録医療機関:118 機関
診療情報閲覧に同意した患者総数:37,004 人
- ⑧地域の医療機関との連携相談実績…4年4月～4年10月計:7,350 件
医療相談実績…4年4月～4年10月計:996 件

2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。

(委員)

救急外来は、昨年度と比べて1日の受診者数、救急車の利用台数も含め、コロナ前と比べて増えているのか元に戻ったのか、まだまだ少ないのか。

(事務局)

コロナ前、救急搬送は年間1万を超えていたので、今のペースでコロナ前と同じ位になると思われる。

(委員)

第7波の発熱外来は多かったか。

(事務局)

相当多かった。

(委員)

緊急緩和ケア病床の症例で死亡が2件あり3週間位入院されて病院で亡くなっている。患者さんを連れて帰れないからこうした経過になり亡くなられたなどこれらの患者さんの経過、状況を教えて頂きたい。

(事務局)

短期で疼痛等のコントロールをして落ち着いたら紹介元の医療機関に戻ることになっているが、2人の方は退院できる状況が整わずに亡くなられた。

(委員)

緊急緩和ケア病床の利用は少ないので、どんな方の利用があるのかを見せてもらい増加に繋がるといいと思う。

(委員)

医療相談の件数が増えているということで、コロナ前の傾向、増減について教えてほしい。

(事務局)

相談件数については、コロナ前並に戻ってきている状況。

(委員)

コロナによって相談件数も減っていたと考えてよいか。

(事務局)

患者家族の面会の機会が減っているなど、そうしたことから件数が減っていると考えている。

	(委員) 昨年度と比べて紹介率が4ポイント程下っているということで、どういう評価をしてどのようにしようとしているのか。 (事務局) 紹介率は全体の患者さんの中の紹介患者さんで、紹介率が下がったのは発熱外来に初診で来た患者さんの多くは紹介状を持たずに来院したため、その分母が増えてその割合が減り全体のパーセンテージが減っている。実数としては去年と今年で大きくは減っていないと認識している。 (2)紹介率向上への取り組みについて 1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。 ①令和4年度4月から10月までの患者さんからの電話予約実績は484件。地域別では大垣市の先生が約9割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約4割を占めており小児科、皮膚科の順となっている。 ②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和4年度4月から10月まで36件。診療科別としては、循環器内科が36.0%、消化器内科が19.3%、神経内科が13.9%で、この3科で約7割を占めた。 2)委員から、上記の報告について意見・質問はなし。 2. その他 (委員) 新型コロナは最近増加傾向で小中学生も増えてきているが、インフルエンザの傾向は現在どうなっているのか。 (委員) この地区ではほとんど出ていない。秋頃に出た時があったがそれ以降インフルエンザは聞いていない。今の所は報告になるものはない。 (委員) インフルエンザはまだということで、発熱すればほとんどコロナと考えて対処すればいいのか。 (事務局) 当院の発熱外来で検査して陽性率は20数%、残りの70%以上は別の疾患の発熱ということになる。第7波の8月中は陽性率50%位までいった。それが最高で20数%は高い数字ではあるがそこまで陽性率が高いわけではない。 (委員) 発熱外来の利用者数のグラフについての説明はどうか。 (事務局) グラフの高い波が第7波で7月から8月。現在が一番右は11月初旬までの
--	---

	データでまた高くなってきているがどんどん上がっている状況ではなくて頭打ちのような状態。 (委員) 前回、カロナールは2週間で区切っていると聞いたがその後はどうか。 また、最近ツムラの漢方は通常 100%の内 30%位しか入ってきてなくて新規は殆ど入ってきていない状況。通常持っている分もそういう状況にあるが市民病院はどういう状況か。 (事務局) 以前カロナールは 14 日分だったが、現在は 30 日分で処方している。まだ無制限に解除する段階ではなくて 30 日で何とか供給している。漢方は当院において供給が不安定ということはない。
次回開催	令和4年度第4回委員会は1月31日に開催予定とする。